



俱会一処

住職 正月の一筆
仏説阿弥陀經に「俱会一処」とあり、俱(とむ)に一つの処(ところ)で会うの意味です。

大七かな日の前日は雨が降らない様にてるてる坊主を作ったり、物事がうまくいく様に願ったり頼んだりする対象は何でしょうか。「特定の何か」は分からなくても、昔から自然崇拝が盛んで、自然界全てにネ申様がいて大七にされてきた意識が脈々と引き継がれているのかもしれない。しかし、宗教団体の数々の事件の影響で宗教は小怪しいという印象が強まってしまいました。本来怪しいのは宗教ではなく、人間の方ではないでしょうか。自分の大七にしている宗教をひとりひとりが自信を持って喜べる世の中になってほしいですね。どんな時も寄り添い支えとなってくださる阿弥陀様のご本願を喜んで日々を送らせていただきますように。

秋季永代経 法座
令和5年10月9日(月)
参詣者全員で仏説阿弥陀經をお勤めし、住職による法話、土くった人と再会できる方法について聴聞していただきました。休憩を挟んだ後、浄土真宗クイズを行い、上位入賞と全員に賞品をお渡しさせていただきました。

お地蔵さんの前掛け
玉野法親墓苑、七区法親墓苑のお地蔵さんの前掛けをご門徒さんが作ってくださいました。

法親寺 大掃除
ご門徒さんにお手伝いいただき、内陣、仏具外陣や境内、馬場の大掃除を行いました。

坊主が玉野市華道展出品
テーマは「秋麗(しゅうれい)」趣味のバレエをモチーフにトウシューズ・族・秋の山々を表現しました。

報恩講 子どもの集い
令和5年12月23日
第29回震災支援「報恩講 子どもの集い」が神戸別院であり、釋里蓮がスタッフとして参加しました。子ども・大人合わせて250人程が参加し、お勤め、法話に続き、教化団体出店の昼食を楽しみました。

こんにちは。釋 紗音です。新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。日本人は無宗教が多いと耳にすることがありますが、本当にそうでしょうか。お正月には門松が出て、初詣に行っておみくじを引いたり、お願いをしたり、ハロウィンやクリスマスなど、宗教由来のイベントにも親しんでいます。近年、宗教離れの危機と言われていますが、人々が宗教の大七さを感じなくなってきたというよりは考え方や生活環境が時代により変化してきたことも原因ではないかと思えます。最近、こんな面白いお話を聞きました。ある日本の地域で「ゴミの不法投棄が多く困っていた場所にお地蔵さまを安置したところ、ゴミが捨てられなくなった」というものです。これは、理由は分からなくてもお地蔵さまは有難いもので、粗末にするのは良くないと感じている気持ちの表れだと思います。特定の宗教に属してはいなくても、お墓参りに行ったりお仏壇に手を合わせたりと、日常生活の中に自然と宗教感を持って生きているのです。

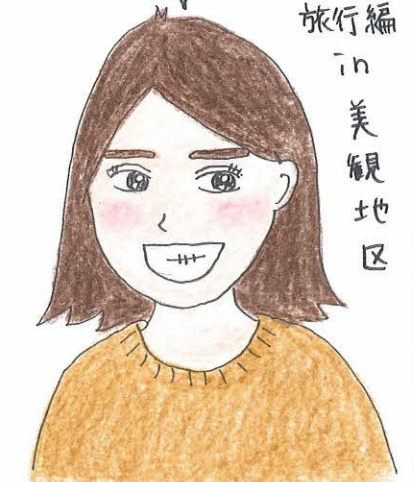


住職の法話
昨年10月1日 法親寺前坊主 華月院釋尼妙香 吉田孝子が浄土住生の素懷を遂げました。母は高松市に生まれ、母の祖母がお寺の出であったことから高松市香西にある真宗興正派長安寺住職の次男であった父と結婚しました。伯父である父の兄が長安寺19代住職を継承することになっていたのですが、父は岡山県玉野市の初代住職不在の法親寺に総代の要望により法親寺二代目住職として入寺しました。当時法親寺は築港老松通り(現在の築港1丁目)にあり、寺の山門前に古い松の木があったことから山号を老松山としていました。500年の歴史のある特留山長安寺の次男である父がその寺を継承することによって長安寺の山号に改名し、母は特留山法親寺の坊主となりました。私が一才の時でした。昭和40年現在の場所に法親寺が再建されるまでの5年間はそこで居住しましたが、門徒数も少なく坊主としての母の苦勞は並大抵ではありませんでした。お寺を護持するためにお寺を展示会に貸したり、洋裁を教えたりと忙しく働いていた当時の母を思い出します。私のことをお兄ちゃん、弟のことをこぼちゃんと呼び、私は母から「大きくなったら立派なお坊さんになるのですよ」と口癖のように言われ育ちました。保育園のころには将来の夢を聞かれるとお坊さんの絵をかき、大きくなったら立派なお坊さんになりますと言っていました。今の私がいるのも母のお陰です。母の90年の生涯は苦勞も多くありましたが、総じて幸せな一生であったように思います。晩年母は口癖のように「良い子どもたちや孫にめぐまれ、お母さんは幸せです」と言っていました。お念仏をようこび、子や孫と共に楽しい時間を過ごし、お寺の坊主としても、弟が社長を務める株式会社山陽レジンの専務取締役としても充実した日々であったように思います。母の華儀の日、寺の掲示板にこう書きました。「また会える、めでたきものは念仏かな」掲示板の中には母の描いた阿弥陀様も飾りました。今生の別れは悲しく寂しさは消えませんが、母と再び会える浄土を思い、お念仏させていただきます。 合掌



釋里蓮のコレがオススメ!

こんにちは。35才になって、まだまだ体が成長中の里蓮です(横に)今回はコーナー初の旅行編です(笑)広島から友人が遊びに来てくれたので、倉敷美観地区へ行ってきました。素敵なお店が沢山あったのでご紹介します♡



☆江戸時代 御料所であった、現倉敷美観地区。その雰囲気は戦後、多くの条例によって大切に保存されています。歴史のある建物の中で、現代風なグルメや買い物を楽しめる、岡山を代表する観光地です。

Atelier & Salon はしまや
歴史のある建物で、発酵食品を使ったランチを(640)お値段は高めですが、自家製ピクルスや甘酒、発酵玄米を使ったランチは味わい深くオススメです♡
発酵スイーツ 2000円 ※ドリンクなし →

くらしき桃ろ 総本店
美観地区周辺に4店舗ある季節の果物を使ったスイーツをいただけるお店♡こちら高めですが満足感があるんですよ。冬の桃が甘くておどろき(00)!!店舗によって限定メニューあり♡

陶芸体験 愛美工房
アイビスクエア内にある工房で、陶芸家の先生が丁寧に教えてくれます。私は中皿と、飼っている亀太郎の置物を作成☆出来上がったら対面させます(640)

旅行編 in 美観地区

日が落ちてくると建物がより印象的。昼とは違った顔を見せてくれます。路地に入ると時代劇の舞台のよう。ここで昔から、777の方が高いを営み、生活をされてきたと思うと、感慨深いものがありますね(笑)皆様もぜひ散策してみてください。

いちごがゆ(1595円) 冬桃(2200円)

お知らせ

報恩講のご案内

- 日時 ● 令和6年1月13日(土)午後1時~
- 場所 ● 法親寺 本堂
- 講師 ● 住職

お車でお越しの際は「隣接」新設「臨時馬場」をご利用下さい。 ※詳しい場所は法親寺HP websiteへ